

令和 8 年 1 月 23 日
水管理・国土保全局上下水道企画課
(上下水道審議官グループ)

令和 7 年度「カーボンニュートラル地域モデル処理場計画」登録式を開催します ～仙台市南蒲生浄化センター及び宗像市宗像終末処理場の計画を登録～

国土交通省では、下水道の脱炭素化に向け、令和 4 年度に「カーボンニュートラル地域モデル処理場計画」※の登録制度を創設し、今年度は、2 件の計画の登録式を開催します。

登録した計画の処理場については、カーボンニュートラルの達成に向けて効果的な技術の導入を支援するとともに、ショーケースとして全国に発信することで技術や取組の普及展開を図り、下水道全体の脱炭素化を推進します。

※カーボンニュートラル（消費するエネルギー量を生み出すエネルギー量が上回ること）の実現に向けて、下水処理場において省エネルギー、創エネルギーに関する技術の導入等を行う事業について定めた計画。令和 6 年度までに 8 件の計画を登録。登録された計画は補助金等により、集中的な支援を実施。

(参考) https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000786.html

1. 登録する計画の処理場

- ①宮城県仙台市南蒲生^{みなみがもう}浄化センター（別紙 1）
- ②福岡県宗像市宗像^{むなかた}終末処理場（別紙 2）

2. 登録式

日時：令和 8 年 1 月 30 日（金）15：00～15：10
場所：中央合同庁舎 3 号館 2 階 上下水道審議官グループ内
（東京都千代田区霞が関 2-1-3）

3. 取材

取材を希望する報道関係者におかれましては、1 月 28 日（水）12 時までにメールにて申し込みください。

※取得した個人情報[※]は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

件名：【取材希望】令和 7 年度「カーボンニュートラル地域モデル処理場計画」登録式
本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

送付先：ozaki-t27f(at)mlit.go.jp, ikoma-k85aa(at)mlit.go.jp
(at)を@に置き換えた上で、必ず両名に送付してください

当日は、14:55 までに国土交通省 2 階上下水道企画課までお集まりください。

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 上下水道企画課 脱炭素化・資源利用推進室（上下水道審議官グループ）
課長補佐 尾崎、グリーンイノベーション普及推進係長 生駒
TEL：03-5253-8111 [内線：34142、34134]、03-5253-8691（直通）



仙台市南蒲生浄化センター-CN処理場計画

- 宮城県仙台市南蒲生浄化センターにおいて、省エネ技術や創エネ技術の導入によりカーボンニュートラルを推進

(創エネ)汚泥処理施設の再構築

下水汚泥を資源化处理(燃料・肥料原料)

維持管理・運営の範囲

設計・建設の範囲

乾燥・炭化

(創エネ)消化ガス発電設備(完成イメージ)

南蒲生浄化センター位置図

南蒲生浄化センター全景

(既設)小水力発電設備

(既設)太陽光発電設備

(省エネ)汚泥脱水機の更新

脱炭素先行地域の取組み

(創エネ)オンサイトPPA (太陽光発電設置イメージ)

(参考)仙台市内清掃工場の廃棄物発電

南蒲生浄化センターへ送電

南蒲生浄化センターへ
再エネ電力メニューの供給

下水汚泥の資源化 老朽化した汚泥処理施設の再構築を行い、汚泥の全量を消化し資源化处理(燃料・肥料原料)を行う。

消化ガス発電 老朽化した既設汚泥濃縮施設の改築に合わせて消化施設を整備し、消化ガス発電事業を行う。

太陽光発電 既設太陽光発電・小水力発電に加え、南蒲生浄化センター未利用地にオンサイトPPAによる太陽光発電設備を導入する。

省エネ 低動力型高効率遠心脱水機を導入し、消費エネルギー量の削減を図る。

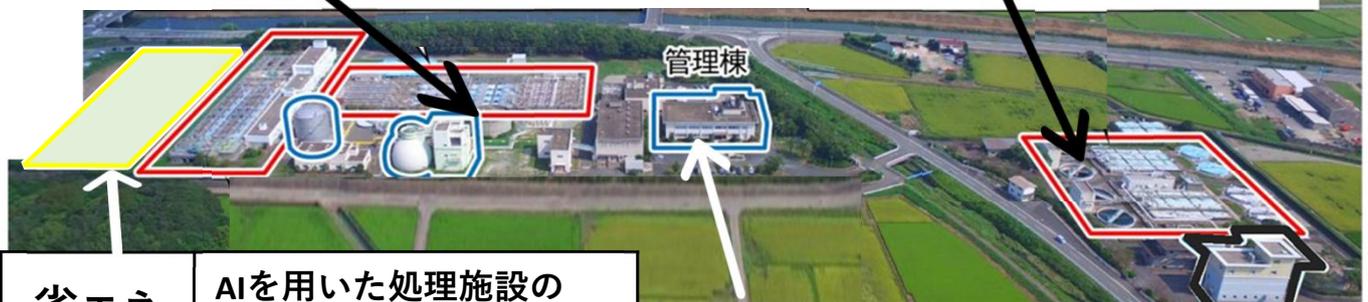
- 省エネ技術導入によるエネルギー削減効果 48%
- 創エネ技術導入によるエネルギー創出効果 3759%

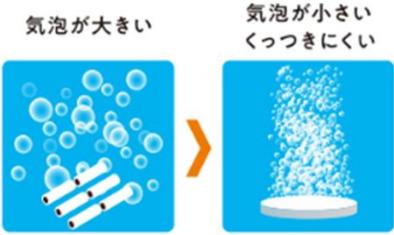
福岡県宗像市 宗像終末処理場 CN処理場計画

- 1 ゼロカーボンシティ宗像の実現に向け2050年までにCO₂実質ゼロを目指す。
- 2 高度処理施設の機能高度化、運転管理のDX化による省エネ化を図る。
- 3 未利用エネルギーの積極回収による創エネ増、太陽光発電導入によるカーボンニュートラルを推進する。



創エネ	汚泥消化の過程で生じるメタンガスを利用した発電によるエネルギー回収	再エネ	改築後の未活用地に太陽光発電施設を設置
			
導入効果 28.0% を創出		導入効果 15.0% を創出	



省エネ	AIを用いた処理施設の運転操作による効率化	省エネ	し尿・漁業集落排水施設の統廃合によるエネルギー使用量削減
			
削減効果 51.0% を創出		導入効果 6.0% を創出	

消費エネルギー ≤ 創出エネルギー を達成